

ガス給湯器 取扱説明書

商品コード

133-4008型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

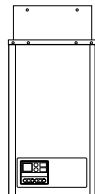
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

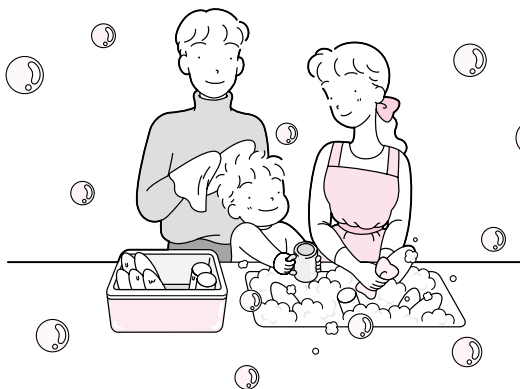
別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型 式 名	YS1639FMH
-------------	-----------





使いかた



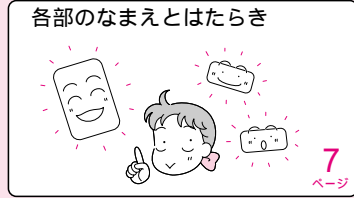
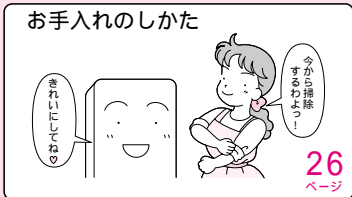
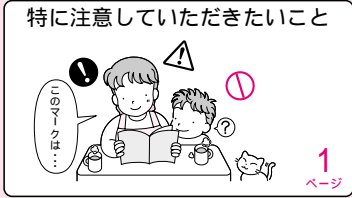
点検・お手入れ・他



この取扱説明書の本文中に出てくる「浴室リモコン」はカタログなどで記載している「シャワーリモコン」と同じものをいいます。

●機器が不都合な場合あるいは、不明な点がある場合は、自分で修理しないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

使用前に



特に注意していただきたいこと・・・1～6

1. 使用前に

- 各部のなまえとはたらき・・・7～8
- リモコンについて・・・9～10
(本体操作部・浴室リモコン)

2. 使いかた

- はじめてお使いになるときは・・・11～12
 - ・運転前の準備と確認・・・11～12
 - ・現在時刻の合わせかた・・・11～12
- お湯の出しかた・・・13～16
 - ・お湯の出しかた・・・13～14
 - ・優先表示について・・・15
 - ・給湯設定温度の記憶について・・・16
- 湯はりのしかた・・・17～20
- 呼び出し音を鳴らしたいとき・・・21
- 安全装置について・・・22
- 凍結予防のしかた・・・23～24

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・25～26
 - ・点検・・・25
 - ・お手入れ・・・26
- 故障かな？と思ったら・・・27～30
- アフターサービス・・・31
- 仕様・・・32

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含まれます。危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を赤字で表記しています。(例：ガス漏れのおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味	絵表示	意味
	特定しない一般的な危険・警告・注意		特定しない一般的な禁止
	感電注意		火気禁止
	高温注意		接触禁止
	発火注意		ぬれ手禁止
	必ず行う		分解禁止
	アース必要		

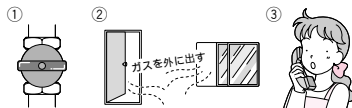
危険

ガス漏れ時の処置

- ① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。(周辺の電話を使用しない。)

●上記①～③の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



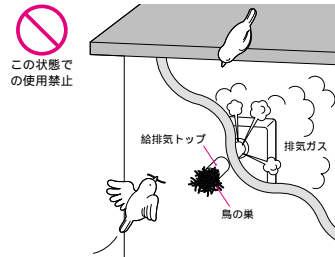
危険

給排気トップの点検について

- 給排気トップは定期点検をする。
 - ①給排気トップがはずれていないか。
 - ②給排気トップが詰まっていないか。(鳥の巣・すずなど)
 - ③給排気トップがふさがれていないか。
- 上記①～③の状態での使用禁止

室内に排気が漏れて一酸化炭素中毒のおそれがあります。

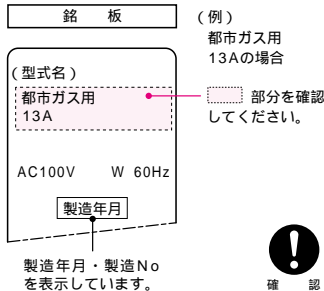
わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



警告

使用ガス・電源について

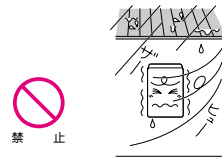
- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示しているガスの種類(ガスグループ)を使用する。
表示以外のガスで使用するすると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- 電源は、AC100V・60Hzまたは50Hzを使用する。
他の電源で使用すると火災や感電などのおそれがあります。
- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。



わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

屋外設置の禁止

- この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対に設置しない。
炎が風にあおられたり、雨水が機器に侵入したりすることにより火災や故障の原因になります。



警告

分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器やリモコンを分解したり、修理・改造を行わない。
異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。

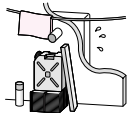


分解禁止

警告

火災の予防

- 機器の周辺や給排気トップ周辺に燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。



- 機器の周辺でスプレー・ベンジン・ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。



火災・爆発のおそれがあります。

やけどに注意

- シャワーなどお湯を使用する場合は、まず手のひらでお湯の温度を確かめてから使用する。



- 入浴の際は、手でお湯の温度を確かめてから入浴する。



- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。



やけどのおそれがあります。

異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①～③の手順に従ってあわてずすみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

①給湯栓を閉じる。 ②リモコンの運転スイッチを『切』にする。 ③ガス栓、給水元栓を閉じる。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

機器の設置・移動工事について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。

火災や思わぬ事故の原因になります。

給排気トップの囲いなどの禁止

- 機器設置後、増改築などにより給排気トップ周辺を屋内状態にしない。また、波板などによって囲いをしない。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

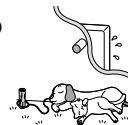


注意

給排気トップの周囲について

- 給排気トップからの排気ガスによって、加熱されて困るもの(植木・ペットなど)を置かない。

植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。また、ペットの毛などが機器内に詰まり、不完全燃焼の原因になります。



やけどに注意

- 使用中、使用直後は給排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。

やけどのおそれがあります。



用途について

- 給湯、シャワー以外の用途には使用しない。

思わぬ事故の原因になります。

アースの確認

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

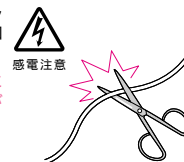
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。

感電やショート発火による火災のおそれがあります。



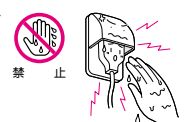
- 電源プラグの差し込みは確実にを行う。

差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。



- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

感電のおそれがあります。



- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かない。

電源コードが断線し、発熱や発火の原因になります。



- 電源プラグはほこりをふき取る。

発火の原因になります。



お願い

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

飲用に使用するとき

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水として使用してください。その後、飲用や調理用で使用してください。

市販の補助具について

- この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

日常の点検・お手入れについて

- 点検・お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。（25～26ページ参照）
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応して青く変色することがあります。
- リモコンを掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。
リモコンが変形する場合があります。

結露について

- 湿度が高い時期などで点火せずに水だけ使用した場合、熱交換器が結露する場合があります。機器の寿命を短くする原因となりますので通水だけの使用は避けてください。

特監法対象機器です。

- この機器は『特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律』の対象機器です。法定の表示ラベルが所定の位置に貼り付けてあることを確認してください。（貼付位置は「工事説明書」に記載しています。）

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日



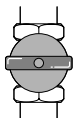
確認

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万が一のガス漏れを予防するためガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。（24ページ参照）



閉じる

凍結に注意

- 冬期は凍結による機器の破損を予防するため、必要な処置を行ってください。（23～24ページ参照）
凍結すると水漏れや故障の原因になります。

断水時の処置

- 断水時は給湯栓を閉じ、本体操作部の運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、11ページからの『使いかた』に従って操作してください。

お願い

積雪時における注意

- 積雪時には給排気トップの点検、除雪を行ってください。
給排気トップがふさがれると不完全燃焼の原因になります。
- 積雪や屋根からの落雪により給排気トップが倒れたり、傾いたりしている場合は、落雪対策が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

リモコンについて

- リモコンは子どもがいたずらしないよう注意してください。
急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。
- リモコンには水をかけないでください。
浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけると故障の原因になります。



禁止



運転停止時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

排気ガスについて

- 増改築などにより、排気ガスが直接建物の外壁や窓（線入、網入板ガラス）アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

温泉水や井戸水で使うと

- 水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合があります。

機器を廃棄する場合

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのまましておきますと思わぬ事故になることがあります。

定期点検について

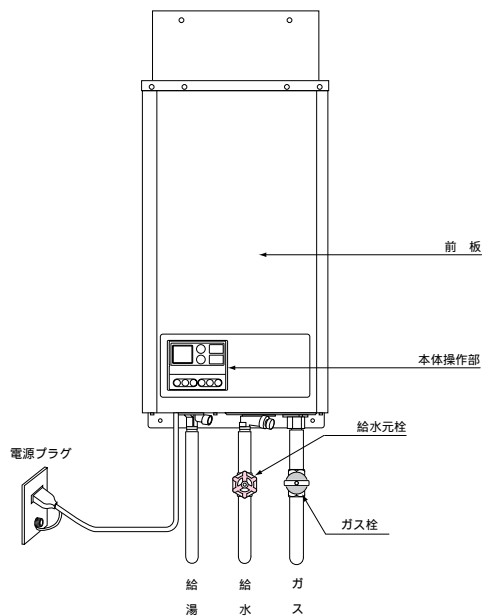
- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

各部のなまえとはたらき

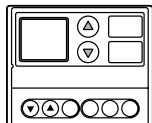
機器本体

●強制給排気式



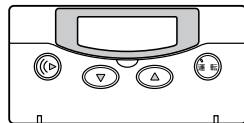
●リモコンの種類

[本体操作部]



機器本体に組み込まれています。

[浴室リモコン]



特長

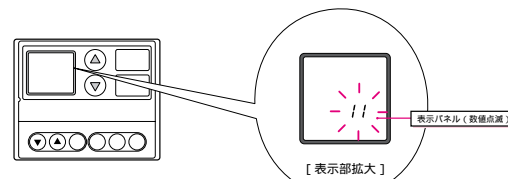
湯はりコール機能（本体操作部のみ使用可能）

1. 湯はり温度・湯はり湯量を設定
2. 給湯栓を開ける
3. 湯はり湯量になるとコールします。



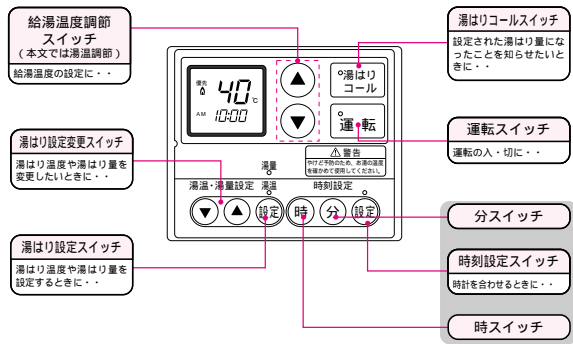
万一の異常をお知らせする故障表示付（各リモコン）

（例）本体操作部



リモコンについて

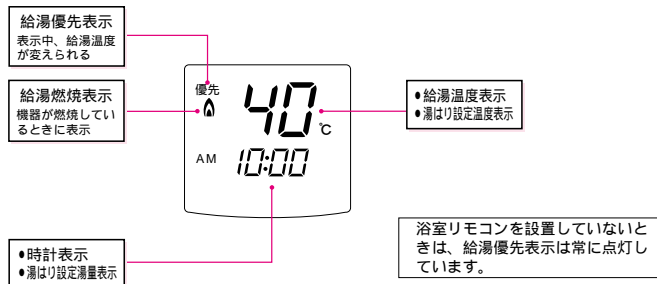
本体操作部



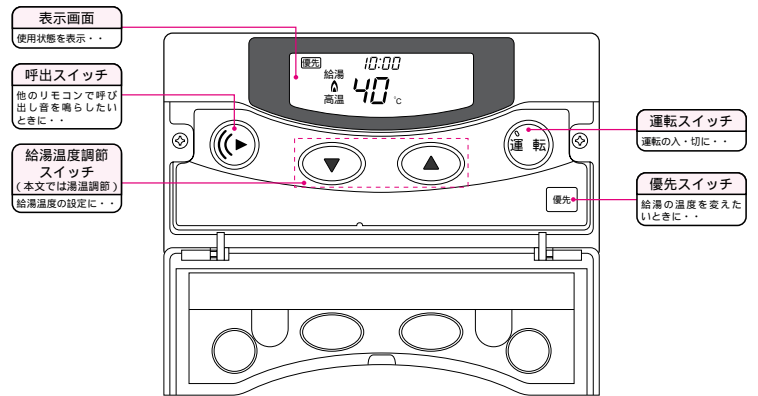
表示画面

[例] 給湯設定温度40℃、時刻AM10:00のとき

使用状態により、表示は異なります。



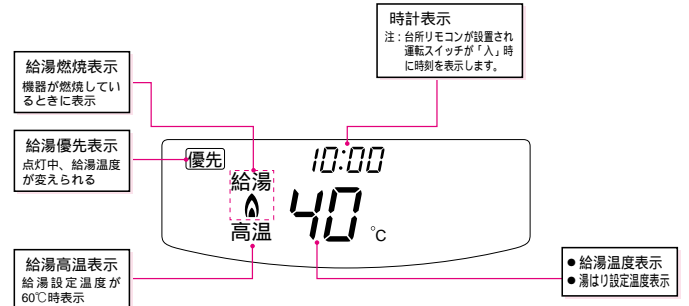
浴室リモコン(138-3004型)[別売部品]



表示画面

[例] 給湯設定温度40℃、時刻AM10:00のとき

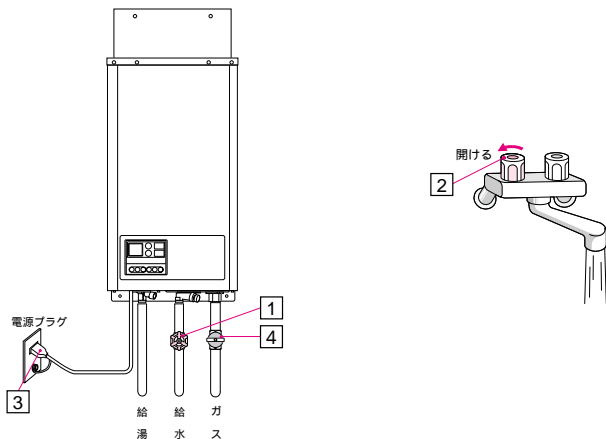
使用状態により、表示は異なります。



はじめてお使いになるとき

運転前の準備と確認

1 ~ 4 の手順で行ってください。



1 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

3 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、
機器用屋内ブレーカーのスイッチを
「入」にする。

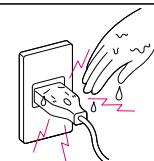
4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。



⚠ 注意

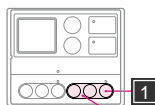
- ぬれた手で電源プラグをさわらない。
感電のおそれがあります。



禁止

現在時刻の合わせかた（本体操作部で時刻設定操作をします。）

本体操作部

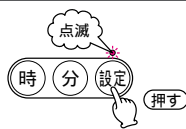


浴室リモコン（別売部品）

時刻設定操作
はできません

本体操作部で設定すると浴室
リモコンも設定されます。

1 設定スイッチを押す



2 時・分スイッチを押す



約10秒後ランプが消えて
時刻を刻み始めます。



：が点滅し、時刻を
刻み始めます。

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを押した後、約10秒以内に「時・分スイッチ」を押さないと自動的に時刻を刻み始めます。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が表示されます。
- 時刻設定をする場合は午前（AM）と午後（PM）を間違えないように設定してください。

お湯の出しかた

警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。



確認



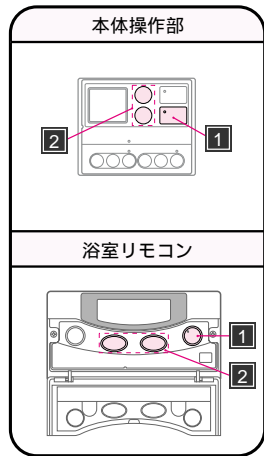
- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。
やけどのおそれがあります。



禁止



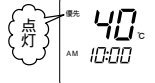
1 ~ 4 の手順で行ってください。



1 運転スイッチを押す



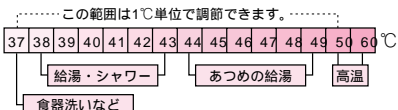
表示は本体操作部の例です。
表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

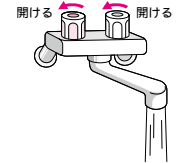
給湯設定温度について

はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。
給湯温度のめやす

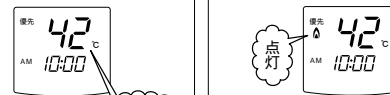
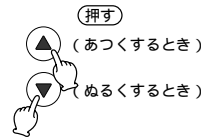


ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞らずすぎたときや水温が30℃に近いときおよび、ソーラシステムと接続しているときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



2 湯温調節スイッチを押す



ご希望の温度に

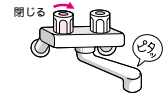
3 お湯を出す

給湯栓を開ける。



4 お湯を止める

給湯栓を閉じる。



- 優先表示が点灯していることを確認してください。消灯している場合は15ページの(優先表示の切り替えかた)に従い、使用するリモコンを優先にしてください。

- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 「▲」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃にするときは、もう一度押してください。

お湯の出しかた

⚠ 警告


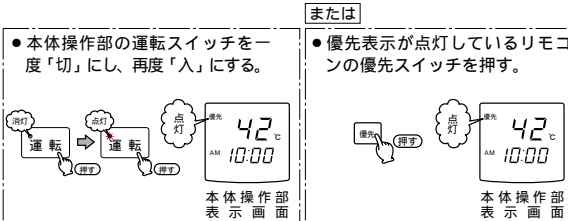

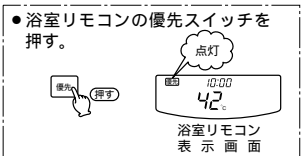
- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼表示が消灯していることを確認する。
- 燃焼表示が点灯している時の優先の切り替えはしない。
- 使用する前に、リモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。

優先表示について

- 複数のリモコンがある場合は優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

- 運転スイッチがすでに「入」の状態（給湯温度を表示している状態）で示しています。
- 優先にしたいリモコンの優先表示が消灯していることを確認してください。

優先にしたいリモコン	優先表示の切り替えかた
<p>本体操作部</p> 	<p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体操作部の運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする。 ● 優先表示が点灯しているリモコンの優先スイッチを押す。 
<p>浴室リモコン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴室リモコンの優先スイッチを押す。 

⚠ 警告

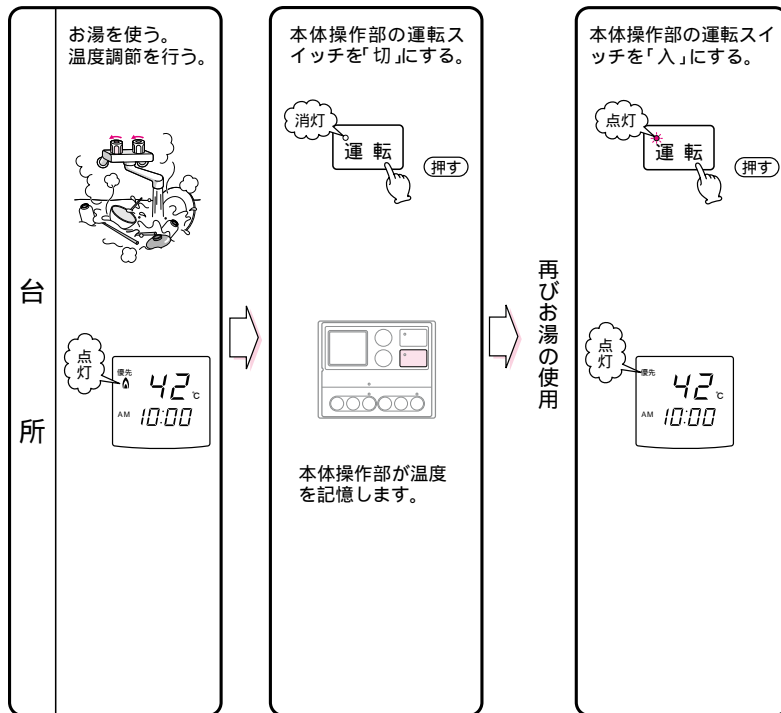
- 前回は設定したお湯の温度を記憶しているため、高温（60°C）で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。



確かめる

給湯設定温度の記憶について〔各リモコン(本体操作部含む)で最後に設定された温度を記憶します。〕

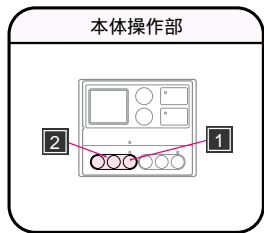
- 本体操作部で紹介をしますが、他のリモコンでも同じ操作方法です。



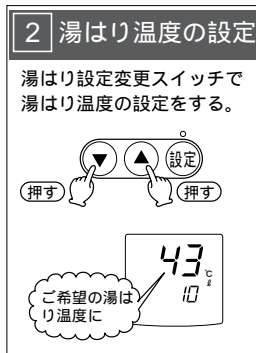
使
い
か
た

湯はり(湯はりコール)のしかた

湯はり温度の合わせかた



- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを1回押した後、約10秒以内に「湯はり設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている温度に設定されます。
- はじめてお使いになるときは、42℃が表示されます。



湯温を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

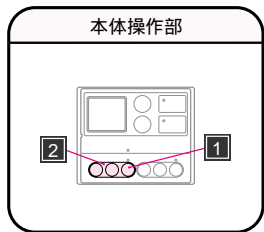
湯はり温度について

はじめて使用するとき
湯はり温度は42℃に設定されています。

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48℃
ぬるめ			ふつう			あつめ					

- 表示されている温度は設定温度で実際の湯はり温度とは、浴そうの種類や配管条件などにより、多少異なりますのでめやすとしてください。
- 一度、湯はり温度を設定すると記憶します。ただし停電後は42℃設定にもどります。

湯はり量の合わせかた



- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを2回押した後、約10秒以内に「湯はり設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている湯はり量に設定されます。
- はじめて設定スイッチを2回押したときは、10ℓが表示されます。



湯はり量を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

湯はり量について

はじめて使用されるとき
湯はり量は10ℓに設定されています。

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約160ℓ	約190ℓ	約240ℓ

- 湯はり量は10ℓ～630ℓまでの設定ができます。
- 湯はり設定変更スイッチを1回押すごとにまた押し続けると10ℓずつ設定湯量が変わります。「▲」スイッチは630ℓまで、「▼」スイッチは10ℓまでしか表示できません。
- 表示されている湯量はめやすとして使用してください。
- 一度、湯はり量を設定すると記憶します。

湯はり(湯はりコール)のしかた

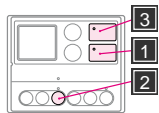
湯はりのしかた

浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる



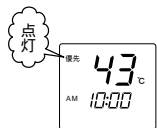
本体操作部



警告

- 夏場など水温が高い場合や、ソーラーと接続している場合、設定温度よりも高い温度のお湯が浴そうにはられる場合があるため、湯はり中や入浴前には必ずお湯の温度を確かめてから入浴する。
やけどのおそれがあります。

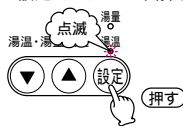
1 運転スイッチを押す



すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

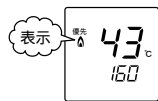
2 湯はり温度・湯はり量の確認

設定スイッチを1回押す。



数秒後、表示は消えます。

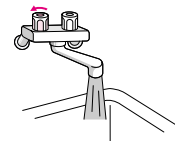
3 湯はりコールスイッチを押す



湯はり量は約10秒間表示し、自動的に時刻表示にもどります。

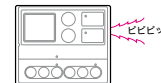
湯はりコールスイッチを押すと設定温度は37～48℃となります。

4 給湯栓を開く

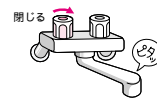


5 給湯栓を閉じる

- アラームが鳴り設定した湯量になったことをお知らせします。



- アラームが鳴れば給湯栓を閉じてください。
(アラームは約14秒で自動的に止まります。)
給湯栓を閉じないと、浴そうより湯があふれます。



ワンポイントアドバイス

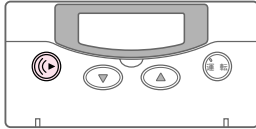
- 「湯はりコール」使用中でも湯はり温度は変更することができます。
17～18ページ「湯はり温度の合わせかた」に従って操作してください。
- 「湯はりコール」使用中、他の給湯栓を使用したりすると湯はり量が少なくなります。
- 「湯はりコール」使用中は浴室リモコンに優先切替できません。
- 「湯はりコール」使用中は、湯温調節スイッチでの給湯設定温度変更はできません。
- 浴室リモコン優先時に湯はりコールスイッチを押すと、自動的に優先表示が本体操作部に切り替わります。
- 湯はりコールスイッチを押すと常に湯はり温度が最優先となります。
- 湯はりコールスイッチを押したあとの給湯設定温度は自動的に湯はり設定温度と同じ温度に変わります。
- 湯はり中に給湯栓を開くと、湯はり設定温度で出湯されます。

呼び出し音を鳴らしたいとき

浴室リモコン(別売部品)を使用されているときのみ、人を呼ぶ必要が生じたときなどに声を出さずに知らせることができます。

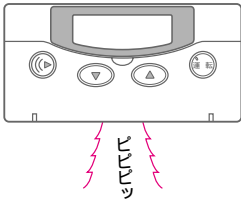
1 浴室リモコンの呼出スイッチを押す。

[浴室リモコン]

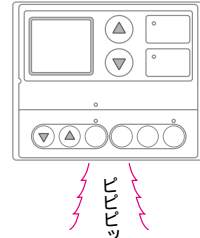


2 各リモコンで呼出音が鳴ります。

[浴室リモコン]



[本体操作部]



- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。(押し続けている間鳴り続けます。また、手をはなした後も数秒間鳴り続けます。)
- 浴室から呼び出し音を鳴らすことができるので、シャンプーや石けんなどがなく困ったときも呼出スイッチがあれば便利です。

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

この機器には8つの安全装置が組み込まれています。安全装置の役割、はたらきなどは下記の通りです。

安全装置	作動理由	はたらき(現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。(機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、大阪ガスに連絡してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	
機器内給気過昇温安全装置	給排気系統の不具合にて、機器内の給気温度が70℃以上になったとき	リモコン表示部に異常警報を行います。(10表示)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、大阪ガスに連絡してください。
	給排気系統の不具合にて、機器内の給気温度が75℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。(機器が使用できなくなります。99表示)	
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。	特に処置は必要ありませんが、特に冷え込みが厳しいときは、凍結予防のしかたもご覧ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の逃し弁より圧力を逃すためお湯が出ます。給湯栓を閉じた後にお湯が出る場合があります。	床面をぬらしますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または大阪ガスに相談してください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

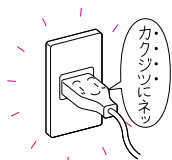
凍結予防のしかた

冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法(通常の寒さのとき)

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 絶対に電源プラグを抜いたり、機器用屋内ブレーカーを「切」にしないでください。



リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

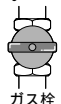
冷え込みが厳しいときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

通水による方法(冷え込みが厳しいとき)

- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 運転スイッチを「切」にする。

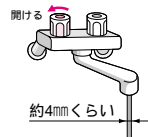


- 3 ガス栓を閉じる。



ガス栓

- 4 給湯栓より水を少量流す。
(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)



約4mmくらい

- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

- 1 運転スイッチを「切」にする。
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。

凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

機器内の水を抜く方法(長期間使用しないときや冷え込みが厳しいときなど)

△注意

- お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。
やけどのおそれがあります。
- 機器の水抜きをするときは、洗面器などの容器を準備してください。

- 1 電源プラグを抜く。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にする。)

機器用屋内ブレーカーを「切」にする場合、電気が遮断されて困るような電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。

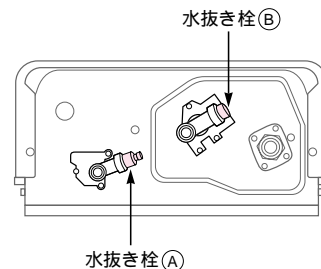
- 2 ガス栓を閉じる。

- 3 給水元栓を閉じる。

- 4 すべての給湯栓を全開にする。

- 5 水抜き栓(A)(B)を左に回して取りはずす。

- 6 排水確認後(約10分後)にすべての給湯栓を閉じ、水抜き栓(A)(B)を右に回してしっかりと取り付けてください。



水抜き栓(B)

水抜き栓(A)

(機器底面)

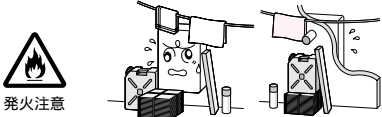

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

再度使用するとき

- 1 水抜き栓(A)(B)をしっかりと取り付ける。
- 2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。
- 3 必ずすべての給湯栓を閉じてから11ページからの「使いかた」に従って使用してください。

点検・お手入れ

点検（月に1回程度）

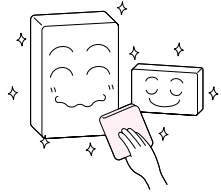

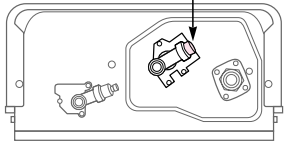
	点検のしかた	処置
機 器 お よ び 周 辺	機器の周りや給排気トップのそばに燃えやすいものを置いていませんか？ 	燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどありませんか？	
	機器の外観に異常がありませんか？ 給排気トップにほこりや、変色したあとがありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
	機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありますか？	

定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
この場合は有料となります。

お手入れ（月に1回程度）

給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き機器が冷えてから行ってください。
機器の前板を外したり、リモコンを分解しないでください。

お手入れのしかた	
機器本体・リモコン	固くしぼった布で汚れをふきとってください。 ベンジンやシンナーなどは使わないでください。 機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。 リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。 リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。 
水フィルター	<ol style="list-style-type: none"> 1 給水元栓を閉じる。 2 水抜き栓⑥を左に回してはずす。 3 水抜き栓⑥の水フィルターを水洗いして掃除する。   <p>(機器底面)</p> <p>水抜き栓をはずすと器内に残っている水が出てきますので床などをぬらさないよう洗面器などの容器を準備してください。</p>

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
● 本体操作部の運転ランプが点灯しない。 (時計表示が消えている。)	● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？	6 22
● 給湯栓を開けてもお湯にならない。(水のまま)	● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？ ● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	6 22 11～12 11～12
● 給湯栓を開けても水が出ない。	● 断水していませんか？ ● 凍結していませんか？	6 23～24
● 高温のお湯が出ない。	● 湯温調節は適切ですか？ ● ガス栓が全開になっていますか？	13～14 11～12
● 低温のお湯が出ない。	● 湯温調節は適切ですか？ ● 機器の水フィルターが詰まっていますか？ ● 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	13～14 26 11～12
● 使用中、湯温が極端に変動する。	● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	11～12 11～12

本体操作部に故障表示が点滅している場合でも、まず上表に従ってお調べください。お調べ後でも故障表示が点滅している場合は29ページの故障表示についての項を参照してください。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。
- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き機器が正常に作動しているか確認してください。万一、異常音・悪臭を感じられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
● 給湯栓を絞ったら水になる。	● 給湯栓からのお湯が1分間に約2.5ℓ以下になると消火します。
● 給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない。	● 機器から給湯栓までの距離があるため、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
● お湯が白く濁っている。	● 白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
● 低温のお湯が出ない。	● 夏場などの水温が高いときや低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか水と混ぜて使用してください。
● 運転を停止しても、しばらくの間、機器で音がする。	● 再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間ファンがまわる音や、再使用にそなえる機器待機動作の音が数秒間聞こえる場合があります。
● 時計表示が「0:00」になっている。	● 停電など、一時的に電源が切れた後は、時計表示が「0:00」になります。給湯設定温度・湯はり設定温度も初期設定温度に戻りますので、再設定してください。
● 給湯設定温度が40℃、湯はり設定温度が42℃にかわっている。	● 停電など、一時的に電源が切れた後は、時計表示が「0:00」になります。給湯設定温度・湯はり設定温度も初期設定温度に戻りますので、再設定してください。
● 停電復帰後にお湯が出ない。	● お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電しても本体操作部のスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。 再度本体操作部の運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
● 寒い日に給排気トップから白い煙が出る。	● 寒い日は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
● 給湯栓を閉じると機器の給湯側水抜き栓より水が、一時的にポタポタすることがある。(特に水圧が高い地域)	● これは機器内の圧力が高くなり、過圧防止安全装置(P22)が作動して水が出る現象で異常ではありません。このようなときは床面をぬらしますので、不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
● 機器の音が高い	● 水圧が高い地域では機器の通水音が高くなる場合があります。

給排気トップ先端に過度の風がかかる等異常音が発生したり途中失火する場合がありますが、故障ではありません。給湯栓を閉じて再度操作してください。

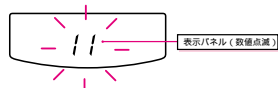
故障かな？と思ったら

故障表示をお調べください。

- 機器に不具合が生じると、本体操作部やリモコン表示部が下記のように2けたの数字を表示し、点滅します。

本体操作部

浴室リモコン



画面表示	内容	処置方法
11	バーナー点火せず	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、表示が出なければ正常です。
12	バーナー途中消火	
14	安全装置の作動	
16・30	給湯温度制御系統の不具合	
32	給水温度測定装置の不具合	
34	給気温度測定装置の不具合	
35	給湯温度制御系統の不具合	
51	ガス電磁弁系統の不具合	
59	燃焼不良	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
70・73	電装基板不具合	
71	電装系統の不具合	
72	炎検出系統の不具合	
74・75・76	リモコン系統の不具合	
10・99	給排気系統の不具合 10表示中は、機器の使用は可能ですが、給排気系統に不具合がありますので、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。	22ページ参照

- 処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

修理を依頼される前に次のことを調べてください。

- 本体操作部やリモコン表示部に数字が点灯・点滅したとき。

運転中に数字が点滅して燃焼が停止したときは安全のため約1分間ファンが回りますが故障ではありません。

こんな場合	理由	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● 使用中にお湯が水になる。 ● 本体操作部やリモコン表示部に数字が点灯・点滅する。 ● 故障表示番号「11」が点滅する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ガス栓が閉じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 使用できるが、本体操作部やリモコン表示部に数字が点滅する。 ● 故障表示番号「10」が点滅する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 給排気系統の不具合（給排気トップの詰まりなど） ● 給排気系統の不具合により機器内の給気温度が70℃以上になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すぐに使用をやめて、ガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 使用できない。 ● 本体操作部やリモコン表示部に数字が点滅する。 ● 故障表示番号「99」が点滅する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 給排気系統の不具合（給排気トップの詰まりなど） ● 給排気系統の不具合により機器内の給気温度が75℃以上になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すぐに使用をやめて、ガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 27～30ページの「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理しないで買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガス給湯器
2. 大阪ガス商品コード 例 **(N) 133-4008**
(機器前面中下に貼付の銘板に記載してあります) 大阪ガス株式会社
3. 故障または異常の内容・エラー番号(できるだけ詳しく)
4. ご住所・お名前・電話番号・道順(できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後10年間です。
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

仕様

品名	ガス給湯器(瞬間先止め式)		
商品コード	133-4008型		
型式名	YS1639FMH		
種類	給(出)湯方式	先止め式	
	給排気方式	強制給排気方式	
点火方式	連続スパーク、ダイレクト着火		
最低作動水量	2.5ℓ/分 [作動水圧 9.81 kPa {0.1kgf/cm ² }]		
排気温度	260℃以下		
外形寸法	(高さ)629mm x (幅)356mm x (奥行)165mm		
質量(本体)	17kg		
接続	給水	15A (R1/2)	
	給湯	15A (R1/2)	
	ガス	15A (R1/2)	
電気	使用電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力	61W	
	待機消費電力	4W	
	凍結予防運転時	80W	
給排気筒	専用給排気トップ 詳細は工事説明書参照		
安全装置	立消え安全装置(フレームロッド方式)・水量センサー・過熱防止装置・残火安全装置過昇温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置(漏電遮断器)・給気過昇温安全装置		
付属品	●取扱説明書 ●工事説明書 ●壁取付脚(上/下) ●保証書 ●お問合わせ先一覧表		
別売部品	●浴室リモコン ●給排気トップ ●チャンバー設置用給排気アダプター		

ガスの種類 および グループ	1時間当りの ガス消費量 kW	出湯能力ℓ/分 (ガス消費量最大時)		ガス接続
		上昇温度		
	最大	25℃	40℃	
都市ガス	34.9	16.0	10.0	15A (R1/2)
LPガス	34.9	16.0	10.0	15A (R1/2)

備考 ●出湯能力は計算値です。ただし水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度により多少異なります。
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。